

## 令和3年度第2回木更津市市民活動支援センター運営協議会 議事録

○開催日時：令和4年3月22日（火）午前10時00分から午前11時10分まで

○開催方法：zoom

○出席者氏名

委員：湯谷賢太郎、川口正彦、坂本広太郎、鶴岡英樹、今関章、荒木太郎  
大坪琴美、桑田雅子、藤川美佳、福原功

指定管理者：田中涼、長嶋宗之

木更津市：渡邊雅彦、阿津直人、中野道信、佐久間千春

### 【市民活動支援課：中野係長】

皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただ今より、令和3年度第2回木更津市市民活動支援センター運営協議会を開会いたします。私は、本日、進行を務めさせていただき、市民活動支援課の中野と申します。よろしくお願いたします。また、委員の皆様におかれましては、昨年10月に、書面により開催させていただいた第1回運営協議会に、引き続き、ご協力いただき、ありがとうございます。日は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、Zoomによる開催とさせていただきます。ついては、Zoomによる開催にあたりまして、発言方法等について、いくつかお願いがございます。まず、可能な限り、カメラをオンに設定していただき、発言時以外は、マイクをミュートに設定していただくようお願いいたします。また、会議を円滑に進めるため、指名された場合や話の流れにより発言する場合を除いて、発言する際は、「手を挙げる」機能を使用して、発言の意思をお伝えください。また、発言を終えたら「手を下げる」操作をお願いします。それでは、ご承知の方もいらっしゃると思いますが、操作確認のため、皆様「手を挙げる」機能を使用いただいでよろしいでしょうか。次は、「手を下げる」操作をお願いします。皆様、確認できました。ご協力ありがとうございました。もし、会議中にうまく操作できなかった場合や手を挙げていただいことこちらが気付かなかった場合は、ご自身で手を振っていただくか、それでもという場合には、お声かけいただくようお願いいたします。最後に、発言者の声が聞こえづらい場合等、なにか不都合がございましたら、その都度申し出ていただくようお願いいたします。それでは、次第2について、市民部長の渡邊より挨拶をさせていただきます。

— 渡邊市民部長挨拶 —

### 【市民活動支援課：中野係長】

次第3の議題にはいる前に、前回の運営協議会が書面により開催されたことから、本日が、初めて顔を合わせる機会となりましたので、自己紹介をしていただきたいと思います。ご自身のPR、どのような市民活動をされているか、市民活動やボランティアへの思いなど、なんでもかまいませんので、よろしくお願いいたします。自己紹介は、運営協議会委

員名簿順にさせていただきます。まずは、湯谷会長、お願いいたします。

－ 委員自己紹介 －

続きまして、本施設の指定管理者である三幸株式会社南総支店より、出席者の紹介をお願いいたします。

－ 三幸株式会社出席者紹介 －

最後に、私ども市民活動支援課となります。先程挨拶申し上げました、市民部長の渡邊、市民活動支援課長の阿津、次に、繰り返しになりますが、私が係長の中野、最後に、担当の佐久間、以上の4名となります。よろしくお願いいたします。それでは、次第3の議題にはいりますので、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第1項の規定に基づき、湯谷会長に議長を務めていただきます。湯谷会長、よろしくお願いいたします。

**【湯谷会長】**

議長を務めさせていただく、湯谷でございます。よろしくお願いいたします。なお、本日は、委員の半数以上が出席されているので、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第2項の規定に基づき本運営協議会は成立するものといたします。それでは、本日の議題は、(1)令和3年度事業の経過報告について、(2)令和4年度事業計画についてとなります。まずは、指定管理者である三幸株式会社南総支店より、議題1、2ともに関連した内容となりますので一括してご説明をお願いいたします。

**【三幸株式会社：田中センター長】**

まず、1. 令和3年度事業の経過報告について、(1)利用者数につきましては、令和3年度は目標値を32,000人としており、2月末時点において、10,633人という状況です。内訳は、第1会議室が1,390人、第2会議室が1,299人で、会議室の稼働率は23%となっております。また、残りがフリースペースで7,944人となっております。利用者の状況といたしましては、新型コロナウイルス感染症による施設の貸し出し休止期間がなく学生やテレワークでの利用が増加しております。一方では、不安を感じて、活動団体やお子様連れの方の利用は減少しているところでもあります。令和3年度に関しましては施設の休止期間がなかった事もあり、少しずつではありますが令和2年度と比べ、利用者数は増えていっております。ただ、利用者の声にもありますが、まだコロナ禍での利用に不安を感じられている方もいらっしゃるのも事実でして、小さいお子様連れの方や高齢の方が多い団体の利用は少なく感じます。木更津市市民活動支援センターといたしましては、引き続き感染予防対策を徹底するとともに市民の方に広く周知し安心して利用していただける施設を継続していきます。また、情勢を見ながらではありますが、市民や団体から市民活動・ボランティアに対する意識が離れていかないよう定期的な情報発信やイベン

トを実施していきたいと思っております。続きまして、(2)相談件数についてですが、2月末時点で、相談件数は117件となっており、目標値の430件には届きませんでした。自主事業でもあります専門家による市民活動無料相談会を実施し、2月末の時点で15名の相談があり、より濃い内容の相談が増えてきております。他の相談内容といたしましては、新規団体の設立やボランティアへの参加についての相談が増えてきており、相談に来られた方たちが団体を立ち上げ活動を始めましたという声を聞くと非常にうれしく思っております。その一方で施設利用に関しての相談もあり、初めて利用した方からはこんな施設知らなかった、学生が勉強する場所だと思っていたという声が多く、やはりまだまだ市民の方たちに施設の周知ができていない部分があると感じております。続いて、(3)登録団体数についてですが、目標団体数は125団体でありましたが、2月末時点における登録団体は、116団体となっており、令和3年度の新規登録団体は5団体となっております。この中には桑田委員とディープレモクラシーセンターにも相談対応コーディネーターとしてご協力いただいております、専門家による市民活動無料相談会での相談から団体設立まで至った団体もいらっしゃいます。コロナ禍での活動の制限や団体メンバーの高齢化による活動の停滞が増えていく中で、新規団体が増えることは非常にうれしく、今後も引き続き木更津市市民活動支援センターとして、新規の団体や登録団体が継続して活動できるよう情報の発信や環境づくりをしていながら、市民活動やボランティアに興味・関心を持っていただけるようなイベントを企画していきたいと思っております。続きまして、(4)令和3年度自主事業実績についてですが、新型コロナウイルスの影響もあり、事業計画通りには実施できませんでしたが、オンラインでの開催など可能な限り実施させていただきました。実施した事業については、資料のとおりとなります。この中で、①みらいラボフェスタにつきましては、11月3日に潮浜公園で開催されたオーガニックシティフェスティバルにて、登録団体の協力のもと、多くの参加者に市民活動を知ってもらうきっかけとなりました。また、④コミュニティカフェでは、市民と市民活動団体の交流の場として、展示物や物品販売も通じて、交流を深めていただきました。あわせて施設の周知にもつながるイベントとしても、開始することができたと考えております。⑥こどものアトリエ こどもの夢発表～夢～では、将来の夢をテーマとして、子ども達を対象に開催いたしました。その中で、ボランティアとして普段フリースペースを利用している学生に話しをしたところ、6名の学生にサポートスタッフとしてご協力いただくことができました。協力していただいた学生の中には、他にもボランティアに参加したことがある学生や、今回が初めてであった学生もいました。また、今回は参加できなかったが、次回があれば参加させてほしいと言ってくれた学生もおり、うれしく思っております。現在、フリースペース利用の大半が、学生の利用となっておりますが、話しをしてみると、勉強だけでなく、きっかけがあれば市民活動やボランティアに参加してみたいという考えがあることがわかりました。みらいラボとして、今後も話をしていながら、若い方たちにも興味や関心を持っていただけるイベントを企画するとともに、彼らが主体となって、地域の課題解決をするため活動を始めるための働きかけをしていきたいと考えております。令和3年度事業の経過報告については、以上となります。次に、2 令和4年度事業計画についてですが、(1)令和4年

度に向けた課題として、①市民活動への参加の促進、②行政・企業・団体同士の連携、③市民活動を継続していくための環境の3つを課題と考えております。(2)令和4年度の取り組みについて、①市民活動への参加の促進は、市民や団体の方が感じている悩みや問題を把握していこうと思っております。方法としましては、イベント参加者へのアンケート、来館者へのヒアリングなどを考えております。このアンケートやヒアリングなどで出てきた市民の方の悩みや地域課題をテーマに、講座やセミナーなどで自主事業を実施していきたいと考えております。今までみらいラボで実施してきた自主事業のセミナーや講座の内容が少し専門的な内容でしたので、令和4年度はアンケートやヒアリングの結果をもとに、市民の方がより身近に感じられ参加のしやすいテーマで開催し、まずは、市民活動へのきっかけになっていただけるような自主事業を開催したいと思っております。また、SNSや広報誌を使い市民活動への興味、参加促進につなげるための情報発信を行っていきます。続いて、②行政・企業・団体同士の連携についての、取り組みといたしましては、日ごろから行政や団体の方と情報の共有をしていきたいと思っております。先日、木更津市市民活動支援センターの自主事業で団体交流会を開催し、災害をテーマに川口委員や木更津市社会福祉協議会、ディーパデモクラシーセンター、登録団体の方とともに災害時の連携の必要性、日ごろからの情報共有の大事さについて意見を交わしあい、お話をさせていただきました。また、連携には行政、団体、企業だけではなく市民同士、また木更津市各地域との連携も必要であると思っておりますので自主事業の団体交流会やコミュニティカフェなどで多種多様な方たちが交流をする場をつくりながらお互いの関係を深めあい連携・情報の交換をしやすい環境を作るためのイベントを実施していきたいと思っております。最後に、③団体が市民活動を継続していくための環境についての取り組みといたしましては、年度の初めに団体活動アンケートを実施し活動状況の把握をしていきます。令和3年度は回答率が30%と低かったため令和4年度は質問内容の見直しと回答方法を改善し回答率を上げるとともに、より具体的に活動の把握ができるようにしていきます。あわせて活動場所へ赴き、団体の方と話しをさせていただきながら、現地調査を行います。また、活動メンバーの減少から活動が停滞してしまっているという声も聞きますので、木更津市の学校へボランティア協力の依頼や、一般の方への協力をお願いしながら、ボランティア人材を確保していき、自主事業の市民活動・ボランティアマッチングプログラムなどで団体の方にはメンバーを集めていただき、活動の停滞がないように支援していきたいと思っております。団体からの相談で活動の継続に関しての相談も少なくはありませんので、定期的に研修や勉強会を実施し、みらいラボスタッフの相談対応スキルを向上させながら、毎月第3土曜日に実施している専門家による市民活動無料相談会などで相談をしていただき、団体の活動が継続していける環境を作っていきます。最後に、(3)自主事業計画につきましては、資料のとおりとなっております。新型コロナウイルス感染症が収束していない中情勢を見ながらではありますがコロナ禍での制限に左右されない内容や開催方法で実施し、団体同士の交流やつながりを絶やさないことを目的に実施していきます。あわせて市民の方へ市民活動の普及と参加への促進につながるイベントも実施していきます。ご説明は以上となります。

**【湯谷会長】**

ありがとうございました。それでは、指定管理者へ質問や意見等がありますでしょうか。

**【坂本委員】**

令和3年度に実施した自主事業のコミュニケーション講座(自己肯定感講座)について、どなたでも参加できる事業なのか、また、社会福祉協議会においても関心のテーマなので、具体的な講座の内容をお聞きしたい。

**【三幸株式会社：田中センター長】**

この事業につきましては、どなたでもご参加いただけます。内容といたしましては、コロナ禍で話す機会が少なくなってしまうことによる精神的な部分の緩和につながる内容で開催しております。

**【坂本委員】**

今後、自主事業でもコラボさせていただければと考えております。

**【川口委員】**

市民活動支援センターが中心となって、皆さんを集めて、事業を実施していくのは非常にいいことではありますが、高齢化も進むなかで、様々な方が参加されると思います。市でも推奨している保険について、自主事業中に事故が起きてしまった場合も想定して実施されているのか確認させてください。

**【三幸株式会社：田中センター長】**

担当課と相談しながら、社内で検討していきたいと思います。

**【市民活動支援課：佐久間主任主事】**

補足ですが、市では市民活動災害補償制度という保険制度を実施しており、市民活動団体の方々が市民活動中に怪我を負った場合、怪我をさせた等の賠償責任を負った場合を補償しております。ご質問は、自主事業中の事故とのことですので、この制度の対象外にはなりますが、参考までに説明させていただきました。

**【桑田委員】**

自主事業は、受託者である三幸㈱自身が行う事業であると考えますが、団体が実施している場合も自主事業となるのでしょうか。

**【三幸株式会社：田中センター長】**

自主事業につきましては、桑田委員のおっしゃるとおり、センターが企画するものであると認識しております。令和4年度については、みらいラボとして発信できる自主事業を

計画しております。

**【桑田委員】**

そうしますと、団体が実施している場合の自主事業に関する保険は、市の保険が対象になるということでしょうか。

**【三幸株式会社：田中センター長】**

確認したところ、三幸株として、自主事業中の事故を補償する保険に加入しておりますので、こちらでの対応となります。

**【桑田委員】**

3月19日に開催された団体交流会についてですが、私どもの団体の加納、川口委員、木更津市社会福協議会の方も参加されたとのことですが、テーマが災害だったせいか、残念ながら、他の参加がなかったと伺っております。設定したテーマにも要因があるとは思いますが、広報についても、団体交流会と銘打つからには、2カ月以上前に、多様なツールや市の協力も得ながら、市民に周知する努力をしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

**【三幸株式会社：田中センター長】**

周知方法に関しましては、令和3年度事業における課題の1つと感じております。今現在のツールとしては、ホームページ、Facebook、Instagram等となりますが、市広報、房総ファミリア、びびなび等を利用して、広く多くの方に知っていただけるようにしていきたいと考えております。

**【桑田委員】**

令和4年度の取り組みとして、行政、企業、団体同士の連携とありますが、現在、企業の方による会議室の利用はありますでしょうか。また、その場合の条件は、市民活動団体と同じでしょうか。

**【三幸株式会社：田中センター長】**

企業による利用は、登録団体とは別に、有料利用となります。今後、行政・企業・団体同士の連携をすすめていくのであれば、見直ししていく必要があるのではないかと思いますので、担当課と検討していきたいと思っております。

**【桑田委員】**

企業を巻き込むのは難しいと承知しておりますが、イベントにどのような形で参加していただいて、関係を作っていくのか、ご検討いただければと思います。

### 【湯谷会長】

令和4年度は、このままいけば、リスタートの年になるのではないかと考えています。市民活動団体についても、停滞していた活動のリスタートに向けて、いかに背中を押してあげられるかが大事だと思います。そこで令和4年度だからこそ、必要になってくるセンターの活動があるのではないかと思います。考えはありますでしょうか。

### 【三幸株式会社：田中センター長】

コロナが終息していくなかで、市民活動団体が活動を再開していく年だと考えています。高齢の方が多いというのも、活動の停滞につながっているのではないかと感じられますので、自主事業の市民活動・ボランティアマッチングプログラムを活用しながら、新に市民活動に関する意識を持っていただけるよう取り組んでいこうと思っております。なかでも、学生等の若い年代の方に、より多く参加していただきたいと思っておりますので、その方々が参加しやすいようなテーマで開催していきたいと考えております。

### 【川口委員】

令和4年度がリスタートの年とありましたが、私もそのとおりだと考えております。そのような中で、センターの事業として、団体交流会がありますが、実際に、私が、災害時にボランティアセンターで活動して、あの程度で済んでよかった、南房総地域の状況のような、もう少し大きい災害が木更津市で起きた場合には、とてもじゃないと思えました。そのように考えると、市民活動支援センターは、様々な団体の登録がありますので、災害が発生した時から避難所ができて、復興に至るまでにどのようなことがあって、団体としてどのようなことに関われるかを知る機会として、前回は災害と活動が繋がらなかったから一部の団体による活動にとどまったと思いますので、市民活動団体と災害がどう関われるのかを団体交流会を通じて、すすめていってほしいと思います。私たち、上総ふまねっこの会では、避難所で開設され、長期化するような時には、ふまねっと運動を提供することで、高齢者の気持ちを和らげるような活動ができると、団体内では話しています。同じように、それぞれの団体でできることがあると思うので、令和4年度事業のなかで、教え、繋げてほしいと考えています。

### 【三幸株式会社：田中センター長】

団体交流会を始めとした自主事業において、団体同士の交流が大事だと考えておりますので、令和4年度については、交流も含めながら、何ができ、何が助け合えるのかを話し合えればと考えております。

### 【阿津課長】

ご報告になりますが、3月12日に協働のまちづくり活動支援事業の選考会を、みらいラボにて開催しました。コロナを影響もあり、応募が少ないことが想定されましたが、結果としては10団体を採択したところです。10分のプレゼンテーション、5分の質問と

いう限られた時間の中で、パワーポイントを使用して、プレゼンテーションしていただきましたが、その後の休憩時間に、団体間で手を組んで事業を実施していけないかと話し合いをされている団体がいる等、有意義であったと考えています。災害時の交流という話がありましたが、取り組んでいる活動以外の補完的な役割として、連携をとっていただきたいと考えております。また、市として、協働のまちづくり活動支援事業を受けている団体の団体登録をすすめていきたいと考えております。以上、ご報告兼ねてのご説明となります。

**【湯谷会長】**

ご意見等ないようなので、議事を終了いたします。それでは、事務局にお戻しいたします。

**【市民活動支援課：中野係長】**

皆様、ありがとうございました。最後に、次第4 その他について、この場で伝えておきたいことなどがございましたら、お願いいたします。

**【市民活動支援課：阿津課長】**

新庁舎の整備に関わることとなります。令和7年4月から供用開始を予定している駅前新庁舎等ですが、その建設に伴い、現施設が入る両総通運ビルも取り壊しとなる予定となっております。このため、令和7年4月の供用開始前の期間について、市民活動支援センターの仮移転先を現在調査しているところでございます。まだ、決定には至っておりませんが、候補地をいくつかあたって、2・3案ある中で、絞り切れない状況になりましたら、委員の皆様のご意見をお伺いすることになろうかと思っておりますので、その際には、よろしくお願いいたします。また、令和7年度からの本移転の際にも、駅前庁舎の中に市民交流スペースが設けられるため、まだ計画段階ですが、その中に市民活動支援センターが入ることも案としてあります。移転後の配置やスペース、機能等について、協議会の場で皆様のご意見をお伺いできれば考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**【市民活動支援課：中野係長】**

以上とさせていただきます。改めまして、皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。また、今年度1年間、ご協力いただき、ありがとうございました。次回の日程は未定でございますが、来年度の夏ごろに開催したいと考えておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。以上をもちまして、令和3年度第2回木更津市市民活動支援センター運営協議会を閉会いたします。また、議事録については、改めて、ご報告させていただきます。ありがとうございました。各自、ご退室をお願いいたします。